

ヒトと動物の関係学会

第 15 回総会資料

総会議題

- 1 号議案 2008 年次事業報告
- 2 号議案 2008 年次決算報告
- 3 号議案 監査報告
- 4 号議案 2009 年次事業計画 (案)
- 5 号議案 2009 年次予算 (案)
- 6 号議案 その他

日時：2009 年 3 月 8 日 (日) 午後 1 時より

場所：東京大学農学部弥生講堂

< 1号議案 >

2008年次事業報告

1) 2008年12月31日現在の会員数 正会員 806名 名誉会員 2名
賛助会員・法人会員 17団体

2) 学術大会の開催

第14回学術大会 東京大学農学部弥生講堂

大会実行委員長 近藤 誠司

参加人数 234名* *印の参加人数は参加費納入者

2008年3月22日(土)・3月23日(日)

シンポジウム第一部「広汎性発達障害とアニマルセラピー」

コーディネーター：横山 章光

座長：古荘 純一

演者：「イヌと広汎性発達障害」 椛島 大輔

「ウマと広汎性発達障害」 鈴木 明子

「イルカと広汎性発達障害」 辻井 正次

コメンテーター：竹花 正剛、慶野 宏臣、津田 望

シンポジウム第二部「ブタの生き方」

コーディネーター・座長：石田 戢

演者：「東南アジアの日常におけるブタとイスラーム」 見市 建

「アニマルウェルフェアから考えるブタとヒトとの関係」 小針 大助

「ブタあれこれ」 正田 陽一

一般口演 29題 ポスター演題 11題

3) 研究会の開催

2008年1月12日(土)・13日(日) 第二回「学生、大学生のための学術発表審査会2008」

場所：関西地区 大阪ペピイ動物看護専門学校

関東地区 日本獣医生命科学大学

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：24演題（関西8・関東16）

2008年2月16日(土) 第59回月例会「人間とクジラの多様なつきあい方」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：粕谷 俊雄

2008年4月26日(土) 第60回月例会「オランウータンと人との関係ー野生と動物園ー」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：黒鳥 英俊

2008年6月28日(土) 第61回月例会

「シエラレオネにおけるヒトとチンパンジーの関わり：先進国が与えた影響」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：樺沢 麻美

2008年7月26日(土) 第62回月例会「ペットは少子化の因子となりうるか」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：小西 崇晃

2008年8月16日(土) 第63回月例会

「日独の民俗・諺にみる動物比較—ねずみ、狐、カラス、蛇、猿、兎、そして羊—」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：可知 正孝

2008年9月20日(土) 第64回月例会「現代日本人の動物観—動物とのあやしげな関係—」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：石田 戢

2008年10月25日(土) 第65回月例会「ヒトと動物の境界線をアートする～合成ペットを巡る冒険」

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：プリュンヌ・ヌーリー

2008年10月26日(日) 第66回月例会「イヌとの出会い・子犬の社会化をめぐって」

場所：大阪ペピイ動物看護専門学校 セミナーホール

司会：林 良博

講演者：「ヒト・犬に会う…「出会い」という社会関係性の構築」奥野 卓司

「子犬の社会化の心理学」中島 定彦

「行政によせられる苦情相談と、犬の社会化」佐野 哲也

「子犬の社会化に関する事例紹介」中塚 圭子

※特定非営利活動法人「動物愛護社会化推進協会」第2回シンポジウムとの共同開催

2008年12月7日(日)

「動物観研究会公開ゼミナール2008」

場所：東京農工大学農学部2号館2-11 多目的講義室

開会挨拶

亀山 章

「ペット市場と動物観」

岩倉 由貴

「鷹書からみた使役動物観」

二本松 泰子

「メナージェリーの二つの系譜」

若生 謙二

特別講演「擬人化と動物観」

矢野 智司

「江戸川柳・狂句にみる動物の擬人化表現」	安田 容子
「歯と小人—宮崎駿の『人間中心主義』」	森 由民
「戦前、擬人化を象徴する天才チンパンジーがいた・一世を風靡した大阪市立動物園の『リタ嬢-』」	中川 哲男
「動物園職員の擬人観に関するアンケート調査」	松井 桐人
「擬人化の諸相」	大村 仁美
「擬人化『能力』の考察」	横山 章光
総合討論「擬人化と動物観」	司会 石田 戡

2008年12月14日(日) 関西シンポジウム2008

「野生動物の生息地域に暮らす人々の動物観」

場所：大阪ペイイ動物看護専門学校 セミナーホール

開会挨拶：奥野 卓司

コーディネーター：若生 謙二

講演者：「ゴリラをめぐる動物観の変遷と保護活動」山極 寿一

「ワンバ住人はボノボをどのように見ているか」伊谷 原一

「野生動物とともに暮らす知恵：西アフリカの農村の動物観とチンパンジー保全」山越 言

「野生動物と現地の人々の動物観」池谷 和信

4) 会議の開催

常任委員会 3/23・7/13・11/16

理事会 3/23

評議員会 3/23

編集委員会 3/23

学術委員会 2/16・4/26・6/28・7/26・8/16・9/20・10/25

5) 学会誌の発行

第20号発刊 6月 1200部

第21号発刊 12月 1200部

動物観研究13号 12月 1200部

2008年次 決算報告

1. 会計報告

2008年12月末日現在

I、収入の部

科目	2008年12月末日	2008年度予算	予算比	備考
一般・学生会費	3,872,500	3,500,000	111%	
賛助・法人会費	940,000	500,000	188%	
大会参加費	902,000	1,000,000	90%	第14回学術大会 大会費、懇親会費 (第15回前受け)
出版物売上	102,500	50,000	205%	学会誌、予稿集
広告費・別刷費	1,233,650	750,000	164%	
雑収入	129,990			シンポジウム、月例会等
預貯金利子	2,594			
雑収入計	132,584	155,566	85%	
当期収入合計	7,183,234	5,955,566	121%	
前期繰越額	3,044,434	3,044,434		
収入合計	10,227,668	9,000,000	114%	(当期収入合計+前期繰越額)

II、支出の部

科目	2008年12月末日	2008年度予算	予算比	備考
学会誌印刷費	1,015,770			学会誌通巻19号・20号
学会誌制作費	973,905			学会誌通巻19号・20号制作費・編集費
学会印刷費	193,200	(印刷・制作費)		封筒、パンフレット、振込用紙等
小計	2,182,875	3,000,000	73%	
大会費	1,029,588			予稿集制作費、講演料、会場費等
シンポジウム・月例会費	873,349			講演料、会議費、IAHAIO関連
通信費	334,890	(事業費・会議費)		HP管理費、電話、インターネット
小計	2,237,827	2,550,000	88%	
郵送費	447,070	850,000	53%	
人件費	416,100			バイト代
旅費交通費	96,070			
事務用品費	97,013	(事務費)		
小計	609,183	2,000,000	30%	
雑費	71,511	600,000	12%	振込手数料・電話配線工事費・慶弔費他
当期支出合計	5,548,466	9,000,000	62%	

2. 会費納入状況

個人会員会費納付状況(平成20年12月末日現在)

年度	各年度会員数	納付件数	納付率
2006年度	763	675	88.5%
2007年度	842	662	78.6%
2008年度	882	556	63.0%

賛助・法人会員会費納付状況(平成20年12月末日現在)

年度	各年度会員数	納付件数	納付率
2006年度	17	13	76.5%
うち、賛助会員	15	11	73.3%
うち、法人会員	2	2	100.0%
2007年度	17	14	82.4%
うち、賛助会員	15	12	80.0%
うち、法人会員	2	2	100.0%
2008年度	17	10	58.8%
うち、賛助会員	15	9	60.0%
うち、法人会員	2	1	50.0%

〈3号議案〉

監査報告

2008年1月1日から12月31日までの2008年次における会計および業務の監査を行い、内容について適正であると認めたのでこれを報告する。

2009年2月19日

監事 旗谷 昌彦 印
加藤 由子 印

< 4号議案 >

2009年次事業計画（案）

1) 学術大会の開催

2009年3月7日（土）・8日（日）

東京大学農学部弥生講堂

シンポジウム第一部「社会における盲導犬の役割」

コーディネーター：安藤 孝敏

パネリスト：久保 ますみ

清水 和行

甲田 菜穂子

石上 智美

指定討論者：新島 典子

シンポジウム第二部「外来生物と日本人ーこの10年の進歩と後退」

コーディネーター：石田 おさむ

パネリスト：水谷 知生

羽山 伸一

東海林 克彦

2) 研究会の開催

シンポジウム 1回（2009年12月大阪を予定）

月例会 4回（2009年2, 4, 8, 10月を予定）

学生審査会 1回（2009年1月終了）

2009年1月10日（土）・11日（日） 第5回「学生、大学生のための学術発表審査会2009」

場所：関西地区 大阪ペピイ動物看護専門学校

関東地区 日本獣医生命科学大学

審査員：学術委員、編集委員など

発表演題：31演題（関西9・関東22）

2009年2月7日（土） 第69回月例会

『「河童」のイメージはいかにしてできたか』

場所：東京大学農学部7号館104号室

講演者：中村 禎里

< 5号議案 >

2009年次 予算 (案)

収入の部		
繰越金		4,679,202
個人会費	学生 100 名 × 2500 円	
	一般 650 名 × 5000 円	
	計	3,500,000
賛助・法人会費		500,000
広告費	(学会誌 4 回)	750,000
学会誌等販売		50,000
大会参加費		1,000,000
その他	(寄付・雑収入)	20,798
	計	10,500,000

支出の部		
会議費		100,000
印刷・制作費	学会誌 2 回	
	学生学術審査会 抄録	
	学術大会 抄録	
	計	3,000,000
郵送費		900,000
事務費		3,000,000
事業費		2,500,000
その他		1000,000
	計	10,500,000

< 6号議案 >

その他